

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和6年2月27日

事業所名:多機能型事業所きらら館はるやま
(主たる事業所)

保護者等数(児童数) 22名 回収数 18名 割合 81%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3	0		・環境構成への配慮を引き続き行っていく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2	0		・契約時や保護者会等を通して、職員数や専門性についての情報を分かりやすく伝えていく。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	0	0		・現在、スロープ等は設置されていないが、今後必要であれば、子どもの様子に応じて設置を行っていく。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	17	1	0		・アセスメントや面談を通して、ニーズや課題を聞き取り、分析を行い、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	1	0	・長い期間利用をさせていただいており、子どもからも新しい活動が増えていたことや、楽しかったので学校の友達と話を話して聞かれる。	・子どもが楽しみながら活動に参加し、様々な経験をすることができるよう、子どもの現状や課題に沿った活動内容の設定を行っていく。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	7	0	・きらら館や子ども食堂等で交流があるおかげで、交流で小学校に行ったときに、たくさんのお友達に声を掛けてもらった。 ・現在は、きらら館以外で放課後交流はないと思う。	・子ども食堂の活動等を通して、地域の子どもたちとの交流を行っていく。
保護者 への 説明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0		・丁寧な説明を心掛けていく。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	0	0		・送迎時に子どもの様子や課題について伝え合い、共通理解の基、支援を行うことができるようにしていく。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	0	・面談で、不安なことも話せる雰囲気なのがとてもありがたい。	・面談時や、日々のやりとりを通して、必要な情報を伝えるとともに、育児に対する助言を行っていく。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	6	1	・きらら館を通じて、今でもきらら館のOBの保護者となつたりがあり、とてもありがたい。 ・放課後デイでの保護者同士で会う機会があまりないので、機会があればと思う。	・保護者同士の連携の場を設けることはできなかった。今後は、茶話会などの機会を作り、交流の機会を設けていく。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	4	0		・苦情等へ迅速、丁寧に対応できるよう心掛けていく。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	0		・横面や送迎時に、子どもの様子を伝え、情報伝達を行っている。直接お会いすることが難しい保護者の方には、必要に応じて電話等で情報伝達を行っている。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	3	0	・インスタで活動の様子が見られるので、祖父母も楽しみにしている。	・ブログについては、各グループ月2回更新を行っている。また、Instagram等のSNSも活用し、活動の様子の発信を行っていく。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	17	1	0		・荷物や書類等の入れ間違いのないよう、二重で確認を行い、個人情報の取り扱いに十分に配慮を行っていく。
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	5	0		・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるよう対応を行っていく。 ・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	0		・地震や火災を想定した訓練を実施している。訓練の様子を保護者に伝えていく。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	16	2	0	・送迎車で帰ってくるたびに、楽しそうに笑顔で帰ってくるので安心して送迎。 ・幼稚園や小学校よりも楽しみにしていた。 ・気持ちが崩れたり泣いたりしていたと言われたことが増えたので、楽しいのかどうか分からない。	・引き続き、子どもたちの充実感や達成感、満足感につながるよう支援内容を考慮したり、環境づくりを行ったりしていく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
⑩	事業所の支援に満足しているか	17	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動や先生方の指導のおかげでとても元気に楽しく過ごせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもたちが様々な経験を通して学び、成長につながるよう支援を心掛けていく。 ・子どもの成長や課題について丁寧に伝え、共通理解を図りながら、家庭と連携した支援を行っていく。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和6年2月27日

事業所名: 多機能型事業所 きらら館はるやま
(主たる事業所)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数に応じて、訓練室等のスペースを十分に確保し、支援を行っている。 ・学習時、集中して取り組むことができるよう、訓練室内の配置を考慮している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・適切である。 ・活動内容や子どもの様子に応じて、配置する人数を調整している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・安全に過ごすことができるよう配慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・ケース検討会議等を通し、子どもの支援に関する目標や課題を挙げ、振り返りや見直しを行っている。 ・ミーティング等を行い、業務に関する課題を挙げ、改善策を講じている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者等向け事業所評価を実施し、意見を基に改善に取り組んでいる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・保護者等向け評価表及び自己評価表の結果をホームページで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・第三者評価による外部評価は行ってない。今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に研修の機会を設け、資質向上に繋げている。 ・LDやSST等、子どもの様子に応じて、必要な研修を行っている。 ・非常勤職員参加の事業所内研修の機会を増やし、支援内容の共通理解につなげている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの課題と保護者のニーズを踏まえた上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・標準化されたアセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・各グループの担当職員が立案を行った後、他職員に伝達、配慮事項等について話し合いを行う時間を設けている。	・担当職員のみでの立案となっている。他の職員の意見も取り入れながら立案を行い、より充実した支援となるようにしていく。
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・毎月の目標を決め、その目標を基に活動案を立案している。 ・外出活動やお泊り活動等、子どもの現状に応じて、活動内容を工夫し、様々な経験ができるようにしている。	・年齢の幅が大きくなっているため、より個々に沿った支援の充実へ取り組んでいく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日や長期休暇も学習の時間、活動の時間を設け生活リズムを崩すことなく支援を行っている。 ・長期休暇には、外出活動や社会体験活動を多く取り入れ、充実した支援となるよう努めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮している。 ・活動内容に応じて、個別と集団を判別し、取り組んでいる。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・朝のミーティングで活動内容、子どもの様子や学校、保護者からの申し送り事項について共有、周知を行っている。その後、担当職員で、再度配慮事項等の確認、役割分担を行っている。	・日によっては、打ち合わせの実施が難しいこともあるため、毎朝のミーティング後に打ち合わせを行うことを徹底し、支援内容の充実を図る必要がある。 ・状況によって流れを変えているが、全職員への伝達が可能であることが、確実に全職員で把握することができるよう、ホワイトボード等を活用し、情報共有を図っていく必要がある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・活動終了後、振り返りを行う中で、支援内容の見直しを行っている。	・振り返りや見直しの時間を十分に確保できていないことが多い。時間の確保や振り返りの仕方の見直しを行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録を取ることを徹底している。	・記録を見直す機会が少ないため、その都度見直しを行いながら、必要に応じて、気付きや改善点についてケース検討会議やミーティングを行っている必要がある。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを実施し、課題を伝え、保護者の意向を取り入れながら、見直しを行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・個々の課題に応じて、複数組み合わせ支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での様子等を説明している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校と直接やりとりをすることは少なく、保護者と連絡を取り合っている。	・利用児童や下校時間に関する情報交換が十分にできていないことがあるため、密な情報交換を心掛けていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在は対象児童はいない。 ・受け入れを行う際は、主治医等との連絡体制を整えている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・必要に応じて連絡を取っている。	・密に情報共有を行うことはできていないため、情報共有や相互理解に努めていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・現在は対象児童はいない。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・公開療育や外部研修への参加を行い、他事業所との連携を図っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・子ども食堂を開催し、交流の機会を持った。	・子ども食堂の外部参加の人数が少ないため、SNS等を通して呼びかけを行っている。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		・今年度は参加ができていない。今後は積極的に参加をしていく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・日頃の支援の様子や学習の様子について、保護者に伝え、共通理解を図っている。 ・直接お話しすることが難しい保護者に対しては、電話や保護者用アプリで様子の伝達を行っている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・子どもへのかかわり方や言語面、運動面について等、子育てに関する講習会を、外部講師を招いて実施し、保護者の学びにつながるよう、家族支援を行っている。	・保護者の方の参加が少ないため、個別に声掛けを行ったり、親子活動も同時に実施したりし、参加を呼びかけていく。	
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や必要に応じて説明を行っている。引き続き、丁寧な説明を心掛けていく。		
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの悩みや相談に対し、相談しやすい環境をつくり、面談を実施したり、電話や保護者用アプリで対応したりし、その都度助言や支援を行っている。		
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者会については、3月に実施をしている。	・保護者の交流の機会については、実施ができていない。茶話会や保護者のみの活動等を計画し、保護者同士のかかわりや情報交換ができる場を提供し、機会を増やしていく必要がある。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者からの相談や申し入れがあった際には、迅速に、職員間で共有、対応策を講じている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・保護者用アプリで、活動予定表や活動の様子写真を掲載し、発信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報漏洩がないよう、十分に注意している。	・荷物や書類等の入れ間違いのないよう、二重で確認を行っていく。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・意思疎通や情報伝達のため、配慮しながら支援を行っている。 ・直接お会いすることが難しい保護者に対しては、必要に応じて電話や保護者用アプリを使って、様子の伝達を行っている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			・子ども食堂等へ参加の呼びかけを行っているが、外部からの参加は少ない。今後、SNS等を通して、積極的に行事等への参加の呼びかけを行っていく。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・火災や地震等、場面を想定した訓練を定期的に行っている。	・玄関にマニュアルを掲示しているが、保護者が確認する機会が少ないため、保護者会で、声掛けや周知が必要。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的に避難訓練を実施している。	・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・職員研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束については行っていない。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者へ医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティング時に周知、改善策について検討を行っている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和6年2月27日

事業所名:多機能型事業所きらら館はるやま
(従たる事業所第3きらら館)

保護者等数(児童数) 5 回収数 5 割合 100 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	0	0		・子どもの様子や活動内容によって活動スペースを考慮し、状況に応じた環境構成への配慮を行っていく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0		・職員数や専門性について、分かりやすく丁寧に伝えていく。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	0		・玄関の段差においては、怪我につながらないように、その都度声を掛けていく。今後状況によっては、段差への配慮を検討していく。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	5	0	0		・アセスメントを実施する中で、保護者から子どもの様子や課題、目標を聴き取り、ニーズや課題の分析、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	0	0		・社会体験活動やコミュニケーションを図れる活動等、様々な経験、体験につながる内容を考慮し、個々の発達、課題に応じた支援となるよう配慮していく。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	0		・今年度は福祉館との交流を実施できたが1回のみであった。今後は子どもが楽しみながら交流したり、活動したりできるよう、定期的の実施していく。
保護者 への 説明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0		・見学時や契約時に活動内容や利用者負担額については説明を行い、同意を頂いた上で支援を実施している。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0		・送迎や面談時、コドモンを通して、日々の活動内容や子どもの様子を丁寧に伝え、共通理解を図った上で支援を実施できるようにしていく。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	0	0		・面談や日々のやり取りを通じて、子どもの様子やわかかり方等、必要な情報を伝え、助言等の支援を行っていく。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	0	0		・保護者会や行事開催を通して、保護者同士の連携や情報交換、共有の場を設けていく。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0		・苦情等頂いた際は、その都度迅速に話し合い、改善、周知し、丁寧に対応できるように心がけていく。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0		・子どもの様子や目標、活動内容等、より具体的に伝え合うことができるよう、配慮していく。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0		・月の活動予定表やホームページ、インスタグラムにて様子を掲載している。子どもの様子がより具体的に伝わるよう、更新頻度を増やしていく。
⑭ 個人情報に十分注意しているか	5	0	0		・契約時にホームページの掲載等についての確認を行い、同意を得た上で掲載している。 ・個人情報の取り扱いについて、十分な配慮を行っていく。	
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	0	0		・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるようにしていく。 ・感染症や災害時等、場面を想定した訓練を定期的の実施していく。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0		・消防署立ち会い訓練を2回、自主訓練を2回、計年4回の訓練を実施している。今後も計画的に実施し、訓練の様子についてその都度保護者に伝達していく。
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0		・自立に向けた取り組みを行う中で生きる力を培ったり、社会体験活動やお友達との交流等、子どもたちが学びや達成感、満足感を感じながら過ごしたりすることができるよう、支援を実施していく。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	5	0	0		・子どもの様子について保護者や関係機関と密に情報交換を行い、共通理解の基、支援を実施することができるようにしていく。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和6年2月27日

事業所名:多機能型事業所きらら館はるやま
(従たる事業所第3きらら館)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数に対して、訓練室等のスペースを十分に確保し、支援を行っている。 ・子どもの様子や活動内容によって活動場所を考慮したり、パーテーションで空間を区切ったりしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・職員の配置基準においては、配置基準を満たしている。 ・状況によって個別対応もできるよう、職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・安心、安全に過ごすことができるよう、配慮している。	・現在手すりやスロープ等は設置されていないが、今後必要であれば、子どもの状況や様子に応じて設置を検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・支援内容や業務に対する目標、課題を挙げ、振り返りや見直しを行い、職員間での共有、改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者等向け事業所評価表を実施し、意見を基に話し合いを行い、改善に取り組んでいる。 ・保護者からの意見を把握した上で業務や支援にあたっている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・自己評価の結果について、改善点を職員間で話し合い、ホームページで自己評価の結果を公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者による外部評価は実施できていない。	・今後は第三者による外部評価を検討していく。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・子どもの様子や感染症等の時期に合わせて必要な研修内容を検討、実施し、資質の向上につなげるようしている。	・研修の実施はできたが、計画的に実施することができなかった。全職員で声を掛け合いながら計画的に実施できるようにしていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者へ聞き取りを行い、保護者のニーズと子どもの課題を踏まえた上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・共通したアセスメントシートを使用し、子どもの様子や課題、目標を共通理解した上で支援を実施できるようにしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・年間計画に沿って活動案を検討し、個別支援計画を踏まえながら個々の段階に合ったプログラムを計画、実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・年間計画や各月の目標に沿って立案している。 ・複数の職員で活動案を出し合いながら決めることで、固定化しないよう工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日や長期休暇だからこそできる目標や取り組みを子どもと話しながら決めたり、子どもたちの段階や課題に沿った体験学習をより多く取り入れたりしている。	・子どもの課題に沿って活動や外出活動を実施しているが、個々の目標に沿って細かく設定することができなかった。今後は課題や目標、ねらいを細かく設定した上で支援を実施していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮している。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・支援環境や活動の目的等を放課後等デイサービス担当職員で共有し、共通理解を図った上で支援を実施することができるようにしている。	・活動の目的や内容、配慮事項等について支援開始前に話し合いを行うようになっているが、実施できていない日があったり、直前になったりすることもあるため、早めに時間を設けるようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・支援終了後に支援内容や子どもの様子、課題等について振り返り、情報共有を行ったりしている。	・支援後に振り返りを行うことが難しい日もあった。着実に振り返り、改善ができるよう職員間で声を掛け合っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・活動の反省、評価や子どもの様子について、日々記録を取ることを徹底し、改善点や実行きについてケース検討やミーティングを行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・個別支援計画の時期に合わせてモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・個々の課題や保護者のニーズに合わせて、ガイドラインの基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や児童の担当職員を参画させ、事業所での状況を説明している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・送迎やコードモンを通して、子どもの様子や目標等について情報共有を行っている。 ・適宜連絡が必要な際は電話連絡も行いながら伝達し合っている。	・今年度は面談の実施ができなかったため、今後は具体的に情報交換を行う場を設けていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在対象児童はいないが、受け入れを行う際は、主治医等との連携を図っている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・子どもの様子や課題等について情報共有、相互理解に努めている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・現在対象児童はいない。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・公開講座に参加したり、地区の会議に出席したりする中で児童発達支援センターや他事業所との連携を図っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・1回のみではあったが、福祉館に行く機会を設けた。また、こども食堂を開催し、交流の機会を図った。	・今後は児童館との交流の機会を増やすことができるよう、検討、実施していく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・今年度は参加ができていない。地域の連絡会へは参加し、情報交換、共有を行っている。	・今後は参加を検討していく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎や面談時、コードモンを通して、日々の支援の様子や課題、目標等についての情報交換、共通理解を図っている。 ・ファミリーサロンを通して、子どもの様子を伝え合えるようにしている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・保護者に対し、特性の理解や子どもとのかかわり方等について、外部講師を招いて講習会を行っている。	・参加が増えるよう、伝達方法や内容、実施日時を検討していく。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・見学時や契約時に活動内容や利用者負担額等について説明を行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの相談や悩みに対し、面談を実施したり電話連絡を行ったりし、その際子どもたちの様子や課題についての情報交換、助言を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・保護者会やファミリーサロンを実施することはできたが、保護者同士の連携の場を設けることが少なかった。	・今後は保護者同士で情報交換を行ったり、活動を共有したりする場を設けたりし、保護者同士の連携につなげていく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情、ご意見等があった際には、全職員で迅速に対応方法を検討し、見直しや改善、周知を行っている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月の活動予定表やブログ、インスタグラムを活用し、活動の様子を発信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。 ・ホームページ、インスタグラムへの記載については、同意を得た上で掲載している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・必要に応じて写真や動画を用いて子どもの様子を伝達し、より分かりやすく具体的に伝わるようにしている。	
非常時等	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・地域住民の招待等ができていないが、福祉館で地域の方と話したり、戸外活動等の中で挨拶や会話のやり取りを交わしたりする等の地域の方との交流は見られた。	・今後は地域に開かれた事業運営を心掛けていく。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・随時閲覧できるようにマニュアルのファイルを作成し、保管している。保護者に対しては、契約時に説明を行っているが、保護者がマニュアルを閲覧できる機会は設けられていない。	・マニュアルを閲覧、周知できるような場を設けていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・消防署の立ち会い訓練を2回、自主訓練を2回、年に計4回火事や地震、土砂災害等の場面を想定した訓練を実施している。	・訓練実施後、訓練内容や子どもの様子について保護者に伝達していく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・外部研修への参加、事業所内研修を実施し、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 対 応	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束については行っていないが、身体拘束についてのマニュアルを策定し、体制を整えている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在対象児童はいないが、食物アレルギーがある場合は、保護者へ医師からの指示を確認し、除去食等への対応を行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、対応についての検討や共有を行っている。	・職員同士でヒヤリハットの内容についての情報交換はできているが、報告書の作成後、改善点についてのミーティングを実施できていないことがあったため、その都度話し合いの場を設けていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)